

視 点

今 家政学系大学は 7

聖霊女子短期大学 生活文化科

松 本 祥 子

所在地：秋田市寺内字高野 62-2 (〒011-0901)

秋田市の北西にある風致地区・公園エリアの一面に位置し、春は桜、秋は紅葉の木々をくぐり抜けた高台にキャンパスがあります。校舎から望む美しい景観が自慢です。

建学の精神

本学の出発点は、1908年にカトリックの女子修道会・聖霊会の会員たちによって始められた教育事業です。シスター・ピアはじめ5人の外国人修道女は、秋田の地で、人々、特に女性が、人格としての尊厳や家庭と社会における自己の使命と役割に目覚め、神に期待される人間として成長できるようにと教育活動を展開しました。

本学の教育目標は、「神と人々を愛する」というキリスト教精神に基づく人間観を基礎としています。本学は、真の教育とは人間を自由にする真理の探究であるとの教育方針のもとに、学生の自己確立と円満な人格形成を目指しています。

本学の特徴

大学で学ぶことは、専門的な知識や能力を習得するだけでなく、人間として充実した人生を築いていくための価値観や教養を身につけることも重要な課題です。このような全人格的成長を実現するために本学では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間学、女性論、体験学習、国語表現などの必修科目を中心に、世界的な視野に立つ「真の自己の発見」を促すカリキュラムを構築しています。

生活文化科の成立経緯

1954年一本学設立と同時に、家庭科(定員40名)としてスタート。66年一定員100名に変更。68年一現在地への移転と同時に、家政科に改称。83年一定員140名に変更。90年一生活文化科に改称。96年一専攻科2年課程を開設(学位授与機構認定)。98年一

生活文化専攻(定員100名)と健康栄養専攻(定員40名)の二つに専攻分離。健康栄養専攻は栄養士養成課程(施設)として開設。2000年一専攻科健康栄養専攻(定員10名)が、本科と合わせて4年制栄養士養成課程(施設)として開設され、管理栄養士の育成を行っています。

○入学定員：本科＝生活文化専攻80名、健康栄養専攻60名(2001年変更)。専攻科＝生活文化専攻10名、健康栄養専攻10名。

○教員数：18名(教授7名、助教授4名、講師4名、助手3名)。うち家政学系出身者は4名。

生活文化科の特徴

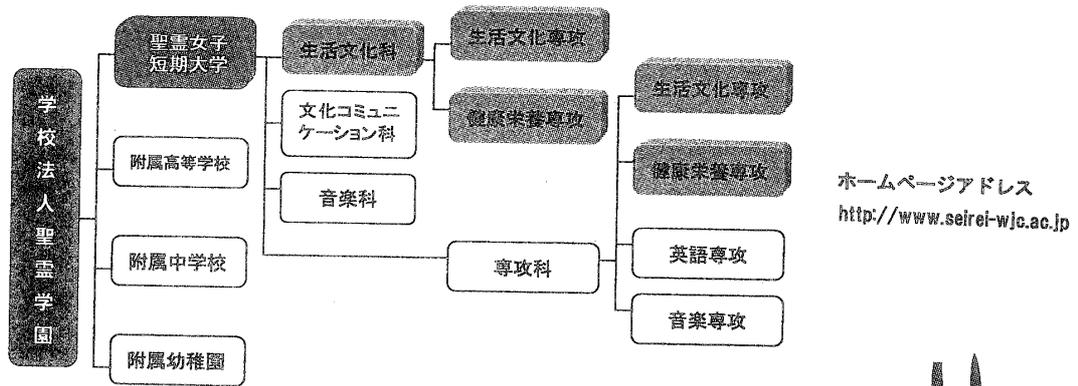
私たちの科の特徴は、新しい生活を創造する力を養成するプロセスとして、一人ひとりの個性を生かして学習を進めることにあります。

生活文化専攻ではこの目的に向けて、人間生活全般に関わる幅広い専門科目(情報関連科目を含む)を設け、学生それぞれの興味と適性に合った科目選択を可能にしています。私たちは、専門性とは、単なる知識のやりとりではなく教師と学生との温かい人間関係を通して伝えられると考えています。2年次に開講される「生活文化研究」というゼミ形式の科目は、その考えを実現したものです。

健康栄養専攻では、食物・食生活に関する知識・技能を全般的に学び、栄養士やフードスペシャリストなどの資格取得を通して社会に貢献する「食の専門家」を育成するカリキュラムが特徴となっています。専攻科2年課程と合わせると県内では唯一の4年制栄養士養成課程となるのも魅力です。

今回の紹介をするにあたり、ご助力を頂きました本学講師・御子隆也氏に心より感謝申し上げます。

〔本学の構成〕



ホームページアドレス
http://www.seirei-wjc.ac.jp

〔資格取得への指導〕

生活文化専攻

取得資格

- 秘書士
- 情報処理士

検定試験指導

- フードスペシャリスト 認定試験
- 秘書検定
- ビジネス実務検定
- ビジネス文書検定
- サービス接遇検定
- 日本語ワープロ検定
- 情報処理技能検定

健康栄養専攻

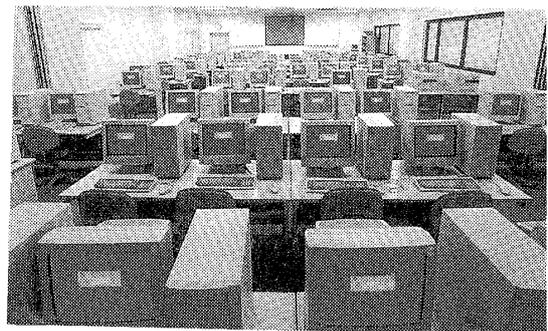
取得資格

- 栄養士
- 秘書士
- 情報処理士

検定試験指導

- フードスペシャリスト 認定試験
- 秘書検定
- ビジネス実務検定
- ビジネス文書検定
- サービス接遇検定
- 日本語ワープロ検定
- 情報処理技能検定

〔情報教育にも力を入れています〕



平成9年にオープンした情報教育棟には、150台のパソコンが設置されています。ここではインターネットを含めたコンピュータ教育を徹底し、進歩し続ける情報化社会において即戦力として活躍できる人材を育成します。